

令和元年 11 月 1 日

## 宝満山を登る

～チョットきついけど楽しい、829Mの山でブナに会える～

英彦山と並ぶ修験道の霊峰宝満山（ほうまんざん）山頂一帯は、古くから神域として保護されてきたため、ブナ群落やアカガシ群落など自然度の高い群落が残っています。

今回の自然再発見講座は、日本の温帯落葉林を代表するこのブナに会うため、皆さんかなり頑張っていたいただき、無事目的を果たすことが出来ました。

秋晴れの下、19名（ほか引率者3名）の参加者とともに、竈門神社下宮でウォーミングアップをした後、出発です。登山口鳥居をくぐれば、いよいよ、山頂まで延々と続く石段に挑戦です。途中の「百段ガンギ」では、皆さん石段数を数えて、百段目一致の時は、童心に帰って思わずニッコリ！

九合目を過ぎて再会の木（サイカチ）に出会い、晩秋漂うキャンプ場で、少々遅い昼食をしました。紅葉はもう少しというところで、コハウチワカエデ、イロハモミジ、ウリハダカエデなどが確認出来ました。

昼食後に、山頂付近でやっと目的のブナに会うことが出来、植生について少々説明しました。そして仕上げは、山頂へ続く鎖場でのボルダリング（?）です。身構え、慎重に三点確保を実行し山頂到達。登頂の達成感を味わい、筑紫平野の遠望に満足していただきました。



帰路の石段群には、一部の皆さん少々疲れが出たようで、行程の点では今後の課題とさせていただきます。

スタッフ：手嶋、静間、田川（記 手嶋）